

# 第33回田原市市民協働まちづくり会議 議事録要旨

1 日時	令和4年7月5日（火）午後3時～5時
2 場所	田原市役所政策会議室
3 出席者	<b>【委員】</b> 渡会美加子、中内田卓也、本多稔、山本五夫、河合武彦、小澤美穂子、高崎雄三、木村俊晴、河邊俊和、藤井吉隆 <b>【事務局】</b> 松井課長、内藤課長補佐兼係長、下形主事補
4 連絡事項	1 会長・副会長の選任について 2 報告事項 (1) 市民協働まちづくりの推進体制について (2) 市の機関の取組について (3) 市民活動支援制度活用状況について (4) 市民活動支援センターの運営について (5) 「田原市の市民協働まちづくり方針」の改訂について 3 その他 ○意見交換 等

## 会議内容要旨

事務局：会議資料の確認

### 1 会長・副会長の選任について

#### 決定事項

- 会 長：藤井吉隆委員
- 副会長：樋口雄士委員

### 2 報告事項

#### (1) 市民協働まちづくりの推進体制について

○事務局：資料1・2について説明

#### 《委員からの質疑・意見》

- ・ホームページ等で補助金制度の周知をされていると思うが、応募が少ない要因をお伺いしたい。  
 →補助金制度には様々なメニューがあるが、制度としては概ね3年以内の補助を限度としており、継続的に団体の運営を支援するものではなく、事業や活動の立ち上げを支援するもの。近年はコロナ禍で、新しく人が集まって活動を始めることや、既存の団体でもイベントや事業を打ち出すことが難しい部分があり、応募が少なかったと考えられる。また、周知を図るためにチラシを作成したり、皆さんが所属されている団体でご紹介していただいたりと、地道にできることに取り組んでいる状況にある。アドバイスやご意見等がありましたら、お伝えいただければと思う。
- ・これまでの補助金制度の活用状況を教えていただきたい。  
 →次回の会議で示させていただく。
- ・補助金制度は、どうも敷居が高くてなかなか手が出しにくいと思う。会議の中で説明するだけでな

く、外に出向いて制度を周知しないと応募が限られるのではないか。

→補助金なので、様々な規程があり、書類を整えないと受け付けられない。敷居が高く感じられるかもしれないが、市役所はもちろん、渡会委員が所属する市民活動支援センターでは、書類の作り方や、事業の相談等を丁寧にサポートするという役割を担っているので、そちらをご活用いただくことも可能である。また、周知について、毎年4月に総務課が各コミュニティに説明に回り、補助金や保険等の支援制度をご紹介させていただいている。それをお持ち帰りいただいて、ぜひ共有していただけたらと思う。

- ・補助金制度については、市の規程を順守しつつ、申請しやすいものになるよう今後の課題とさせていただきます。

## (2) 市の機関の取組について

○河邊委員：資料3について説明

### 《委員からの質疑・意見》

- ・今年度はコミュニティの推進計画見直しの年になっており、市の職員がアドバイザーとして、各市民館、各地域に説明に出向いている。そこで補助制度や協働の施策等の情報を周知していただけるとありがたい。というのも、約10年前に補助金制度が設けられ、ある程度の団体は活用したと思うが、それに代わる新しいものはなかなかない。新しい活動等を拾い上げていくためにも、アドバイザーに情報提供してもらいたい。

→こちらからはもちろん、委員も併せて双方でアドバイザーに依頼していけたらと思う。

## (3) 市民活動支援制度活用状況について

○事務局：資料4-1・4-2について説明

## (4) 市民活動支援センターの運営について

○事務局：資料5について説明

## (5) 「田原市の市民協働まちづくり方針」の改訂について

○事務局：資料6について説明

- ・本来は令和9年に方針の評価を実施するので、規程上中間見直しの必要はないが、ここ数年、コロナ禍等の社会情勢の変化があるため、現状と乖離していないか検証を行い、必要があれば改訂を行うことを考えている。

## 3 その他

○意見交換

○各委員：資料7について説明

午後5時閉会